

私立大学情報教育協会  
平成24年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース

E2班 浜名湖E2

1

テーマ1

責任ある情報を公表するための  
職員の役割

2

テーマ1:責任ある情報を公表するための職員の役割(1)

情報を公表する意義、目的

- ▼信頼される大学を目指す
  - 他大学との差別化：何を学べるか。卒業後のイメージ、将来像
- ▼ニーズを満たす
  - ・学 生 卒業後の進路、留年・退学率、学生生活etc
  - ・保護者 学費、学校の雰囲気、教育内容（実情）
  - ・企 業 あまり関心はない？
  - ・地域住民 公開講座等のイベントで交流・発信

3

テーマ1:責任ある情報を公表するための職員の役割(2)

情報公表の現状

- ▼情報過多
  - ストーリー性のある情報提供になっていない
  - 情報提供側の視点に偏っている
  - 義務的な情報開示

4

テーマ1:責任ある情報を公表するための職員の役割(3)

教育情報の作られかた

- ▼各部署の関わり
  - 広報セクションから各部署に情報提供の依頼
- ▼合意形成
  - 情報提供者側からは見えない
  - 何のために使うのか？どのように使われるのか？

5

テーマ1:責任ある情報を公表するための職員の役割(4)

公表する情報の作り方

- ▼戦略性がみえない
  - 広報セクションだけで意思決定は行わず、関係部署からも声を拾う
- ▼広報の一端を担う意識を共有
  - 各部署も「どういう情報発信をしてほしいか」という視点をもつ
- ▼受ける側の視点
  - ステークホルダーのニーズを調査して反映
  - 情報提供のストーリー性
- ▼情報の保証
  - 有言実行（ポリシーの遵守・実行）のPDCAサイクル

6

テーマ1:責任ある情報を公表するための職員の役割(5)

## 責任ある情報を公表するための 職員の役割についてのまとめ

- ・他部署の情報についても積極的に関心を持ち、情報の意味・目的を理解する
- ・その背景となる社会情勢やステークホルダーのニーズを自ら読み解く姿勢



教員を巻き込んで、実行する

7

## テーマ2

## 学士課程教育の質的転換を図る ための職員の役割

8

テーマ2:学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(1)

## 教育の質的転換の必要性

### ▼外部的要因

- 大学に求められる役割の変化  
「知識の蓄積」から「人材の育成」  
求められる人材
  - ・ 答えのない問題にチャレンジできる
  - ・ 学び続ける

### ▼内部的要因

- 外部的要因に誘発される形で…

9

テーマ2:学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(2)

## 教育の質的転換のための準備

### ▼人材育成のために

- 現状の限界  
大人教講義の一方性、単位取得の形骸化
- 「現場」を意識したコンテンツ  
インターンシップ、実習  
実務家からの講演  
⇒「座学」と「実際」のギャップが学習の動機づけに
- 体系的なカリキュラムの表現  
学部・学科の教育方針と各科目の関係性  
科目間の関係性が見える仕組み  
身につけることのできる能力（学士力）の提示  
⇒目的をもった履修 = 主体的な学び

10

テーマ2:学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(3)

## 教育の質的転換におけるICTの活用

### ▼たとえば…

- タグを使った科目の結びつき
- ウェブシラバスで科目間のリンク
- 学修科目と学生が獲得した能力の表示

11

テーマ2:学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(3)

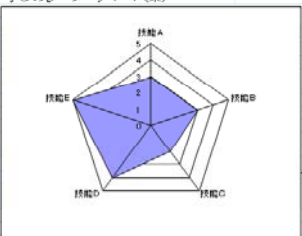
## 教育の質的転換におけるICTの活用

### ▼たとえば…

- タグを使った科目の結びつき
- ウェブシラバスで科目間のリンク
- 学修科目と学生が獲得した能力の表示

12

### 学修科目と学生が獲得した能力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	科目名	知	身につく能力	関連ある科目					
3		…すること	○○力	民法	→「民法」をクリックするとその科目のページに飛べる				
4	経済学	…すること	○○力	憲法	科目ごとに学びのキーワードを抽出、関連付けを行い、				
5			△△力	マクロ経済	学びがリンクしていることや、ある科目を学ぶほど△△力				
6					が身につくのかわかりやすく表現する。				
7	*学びのレーダーチャート(案)								
8									
9	<p>「あなたは1…の能力が高いので、                  2…の技能を伸ばしていきましょう。」                  これまでの成績表だと、AとかBとか、か                  ないないが、こういう表現ならどんな                  力が身についたか可視的理解が可能になる。                  → 就職、キャリアプランニングにも                  活用して、Kの役がないか。</p>								

### テーマ2: 学士課程教育の質的転換を図るための職員の役割(4)

## 教育の質的転換に職員の果たす役割

#### ▼「社会から求められる能力」と教育の橋渡し

- データの蓄積と活用  
 卒業生の履修データ → 就職と学習のマッチング  
 (「学び」のコンサルティング)

#### ▼ 経済情勢

- 求められる人材 } の変化に意識を常に向ける  
 地域社会

## まとめ

#### ▼大学の差別化：淘汰されないために…



#### ▼「職員の果たす役割」を果たすために…

- 職員自身も自ら学ぶ姿勢
- 「主体的に取り組む職員」が育つ環境の醸成